

第23回定期大会 ダイジェスト

オンオフを意識した組合活動

JAM甲信は2021年9月17日(金)、長野県岡谷市のライフプラザ・マリオに於いて、JAM甲信第23回定期大会を開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、岡谷市をベース会場とし、山梨・長野・上小・佐久・上伊那・飯田に6つのサテライト会場を設け、出席者も大幅に絞り、40名の役員代議員、委任状70通を集め初のWeb開催とした。また来賓はお招きせず、安河内会長のビデオメッセージ、村田きょうこ候補予定者のWebによる挨拶のみとした。

冒頭、武田執行委員長は、「コロナ禍の中で取り組んだ2021春闘は、業種・業態により明暗が分かれた。その中、製造業に働く仲間が多いJAM甲信としては一定の成果が得られたと考えている。働き方や労働環境の変化が進んでいるので、今まで以上に各単組の労使交渉に役立ててもらえる支援をしていく必要性を感じている。また、政治を大きく転換させるために、間近に迫る衆議院選挙、そしてJAMが推薦・支持する村田きょうこ氏を来年の参議院選挙で必ず勝利させ、働く者の声を、国政に届けなければならない」と挨拶した。

安河内会長のメッセージでは「新型コロナウイルスのパンデミックは依然収まることを知らない。一方、コロナ後、パンデミック後の社会を見据えた新しい社会の在り方について、カーボンニュートラル、DXデジタルトランスフォーメーションの課題は我々にとっても極めて重要な問題である。技術革新を前向きにとらえ、誰一人取り残されない社会というのはどういう社会か、人間の労働が中心となる社会の在り方はどういうものか、しっかりと議論を重ねていく必要がある。また今ほど私たち労働組合、我々JAMにとって政治力が求められている時代はない。来年7月に行われる参議院選挙で是非とも村田きょうこを国会に送って頂きたい」と挨拶があった。

村田きょうこ候補予定者からは、「まず、国会議員として取り組みたいことは、JAMの産業政策を国会で実現していくことである。そして、生活に関わる様々な制度を、働く者・生活者の目線から良くしていきたい、また女性の声も国会に届けたい」と

熱い決意表明と連帯のご挨拶を頂いた。

大会では、2021年度の一般活動経過、会計報告等が行なわれ、その後、第1号議案：2022-2023年度運動方針案、第2号議案：2022年度予算案に続き、第3号議案では、2022年・政策実現活動に関する件、第4号議案：2022-2023年度役員改選に関する件、第5号議案：JAM甲信・規約・規定の改訂に関する件、第6号議案では役員表彰に関する件が提案された後、退任する役員への表彰が行われた。なお、大会宣言を含めて提案された各議案について全て可決、承認がされた。

新しく就任した杉原執行委員長より、「今大会で承認された役員の方々とともに組合活動の発展に向けて、協力をして進めていきたい。お願いしたいのは何か一つでも良いので、楽しいことを見つけて、活動のオンオフを意識して日々の活動に取り組んで頂きたい。今後、各地区協を回って、皆さんの声を聞きたいと思っているので宜しくお願いしたい」と挨拶がされた。最後に杉原新執行委員長の団結ガンバローで大会は閉会となった。



退任する武田執行委員長(左)から杉原新執行委員長へ

～おしらせ～

JAM甲信第23回定期大会の動画を
JAM甲信のHP(メンバーズオンリー)にて
公開していますのでご覧ください。
合わせて、村田きょうこ氏の応援特設ページも
ありますので、是非ご覧ください。



** 2022-2023年度運動方針 ** 【抜粋】

信頼される産別と自律した単組をめざし活動します

○2022年・第26回参議院選挙における
「村田きょうこ」氏の必勝に向けた取り組み
若年層を中心に「政策実現活動に関する
学習会」の開催

○教育学習活動の強化
WEBを利用した研修器材の積極的な提供

○組織拡大
組織の内外において、仲間作りを強化
目標 16組織 1,383名

○男女平等参画
新たなアクションプラン<202530>の推進

【2022-2023年度 J A M 甲信役員体制】

役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)
執行委員長	全 体	杉原 孝一 (TDK甲府)	執行委員	山 梨	野村 直 (キッツ長坂)
副執行委員長 (地区協議長)	山 梨	櫻井 澄人 (キトー)	(地区協 事務局長)	長 野	青木 俊晴 (都筑製作所)
〃	長 野	木村 卓彦 (信濃電気製錬)	〃	佐 久	佐藤 正弘 (シチズンマシナリー)
〃	佐 久	岩崎 直一 (シチズンミヨタ)	〃	中 信	米山 渉 (カイジョー松本)
〃	中 信	古畑 浩樹 (HDS)	〃	上伊那	小林 大樹 (キッツ伊那)
〃	上伊那	橋爪 寿一 (NTN長野)	〃	飯 田	木下 達弘 (多摩川精機)
〃	飯 田	松田 俊英 (シチズン飯田)	〃	諏訪北	藤森 俊和 (エグロ)
〃	諏訪北	濱 章義 (大和電機工業)	〃	諏訪南	渡辺 昂 (野村ユニソン)
〃	諏訪南	菊池 幸一 (キッツ茅野)	執行委員	上小連合	小倉 康男 (松山)
			〃	女性枠	池田 明里 (シチズンミヨタ)
財政委員長	兼 務	古畑 浩樹 (HDS)	会 計 監 査	山 梨	矢部 孝弘 (シチズン河口湖)
			〃	諏訪南	鎌倉 竜馬 (諏訪三社電機)
書 記 長	専 従	櫻井由紀夫 (書記局)	特別執行委員	青女協議長	栗山 義雄 (シチズン飯田)
副書記長	専 従	佐野 亮一 (書記局)	〃	副議長	小林 望 (多摩川精機)
顧 問		武田 彰 (前委員長)	〃	女性枠	小尾ゆう子 (キトー)
参 与		桜田 力 (南アルプス市議)	〃	女性枠	川手 水保 (NTN長野)
			〃	連合長野	竹村 進 (多摩川精機)

※特別執行委員・顧問・参与は選挙でなく執行委員長より委嘱

退任役員

役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)
執行委員長	全 体	武田 彰 (TPR)	執行委員	中 信	大澤 尚 (カワイ精密金属)
副執行委員長 (地区協議長)	佐 久	依田 孝彦 (TDK浅間)	(地区協 事務局長)	上伊那	木下 亮 (キッツ伊那)
	上伊那	藤森 博之 (トーハツ)	〃	飯 田	藤井 純子 (多摩川精機)
	飯 田	上田 忠晴 (シチズン飯田)	〃	諏訪南	市瀬 清喬 (野村ユニソン)
	諏訪北	浅川 大介 (大和電機工業)	会 計 監 査	長 野	松橋 泰史 (アイテクノ矢嶋)
	諏訪南	中村 和央 (キッツMF)	〃	上伊那	吉岡 大樹 (タカノ)
財政委員長	兼 務	藤森 博之 (トーハツ)	特別執行委員	青女協議長	塚本 洋一 (サンコー松本)
副書記長	専 従	高橋 昌彦 (書記局)	〃	副議長	東田 真生 (カイジョー松本)
		※JAM本部へ異動	〃	女性枠	郷 和子 (TPR)

JAMは2021年8月26日、第23回定期大会を開催し、昨年続き新型コロナウイルス感染防止の為、Zoomシステムを活用し全17地方を繋ぐWeb形式で行われた。JAM甲信は岡谷市のライフプラザマリオを会場に、副執行委員長（地区協議長）7名、執行委員7名の計14名が代議員として参加した。

冒頭で挨拶した安河内会長は、「新型コロナウイルスのパンデミック禍における政府与党の無為無策は極めて遺憾である。経済の遅れを取り戻すことはそう簡単ではない。次の春闘の重要性はこれまで以上に増していることを共通の認識にしたい。また、なんとしても『村田きょうこ』を国会に送り、私たちの声を直接国会に届けなければならない。パンデミックの中、難しい政策実現活動になるが、JAMの底力を見せよう」と語った。

大会では下段の2022-2023年度の運動方針の他、「当面の国政選挙への対応に関する件」、「組織変革ディスカッションペーパーに関する件」、「2022年度JAM政策・制度要求（案）に関する件」など合わせて12件の議案が提案され、全て可決、承認がされた。



出席者の記念写真

* 2022-2023年度の運動方針 * (概要)

1. 職場に関する取り組み：

雇用確保、賃金・労働条件に関する取り組み、男女の均等待遇、安全衛生活動

2. 組織に関する取り組み

組織の強化、組織拡大、男女平等参画、財政健全化、共済運動、業種別部会活動、大手労組会議、国際労働運動の推進、教育と人材育成、青年活動、広報活動とICT活用、シニアクラブへの取り組み

3. 社会に関する取り組み

価値を認め合う社会の実現、ものづくり基盤強化、経済・産業政策の推進、税制と社会保障制度、組合員と政治を繋ぐ政治活動の強化、社会との連帯活動、大災害時の対応

—2021年年末一時金・労働協約取り組み方針について—

2021年年末一時金並びに労働協約の取り組みにおいて、以下にJAMとしての取り組み方針の概略を記しますのでそれぞれご確認ください。

※情勢や詳細については、「JAM本部第23回定期大会 別冊 2021年労働協約取り組み方針及び年末一時金闘争方針」及び「JAM甲信第23回定期大会の議案書・資料編」に記載されています。

■労働協約における最重点課題と重点課題

1. 最重点課題

JAM指針に沿った労働時間への取り組み

2. 重点課題

- ①高齢者雇用、所得確保の取り組み
- ②多様な人材へ対応する取り組み
- ③安全で健康的に働ける職場環境の整備

3. 要点検項目

- ①賃金・労働条件の実態の把握と個別賃金要求準備、企業内最低賃金協定の点検・締結・引上げ
- ②退職金・企業年金の保全状況の把握
- ③労働協約の債務条項の内容について
- ④受動喫煙防止措置

■年末一時金の取り組み

1. 年間5ヶ月基準または半期2.5ヶ月基準
2. 最低到達基準：年間4ヶ月または半期2ヶ月

■取り組みの日程

1. 労働協約
要求提出：10月7日（木）まで
回答指定日：11月11日（木）まで
2. 年末一時金
要求提出：10月21日（木）
回答指定日：11月11日（木）

JAMは、来年7月に施行予定の第26回参議院選挙の候補予定者として、「村田きょうこ」氏を推薦し必勝を期することを、5月28日の第38回中央委員会（臨時大会）において満場一致で確認した。これを受けて、JAM甲信は6月2日の第6回執行委員会にて推薦を決定した。

JAM甲信は、7月10日に「村田きょうこ」氏との懇談会を諏訪・上伊那・長野の3会場で開催し、25単組61名の役員が出席した。村田氏は基幹労連・JAMのものづくり産業の発展に向けた政策作りへの思い、仕事と子育て・介護の両立のためにまい進する決意を熱く語った。また、参加者からの質問にも、手作りのフリップを使って丁寧に回答し、時折会場から笑いが起きるなど、終始和やかな懇談会となった。参加者からは「実際にお会いして、ポス

ターより良い印象を持った」「親しみやすい人柄で、非常に好感が持てる」「女性の声を届けてほしい」などの声が聞かれた。

YouTube「JAM甲信チャンネル」、JAM甲信HPにある「村田きょうこ」氏の応援特設ページをご覧ください、村田氏の政策・人柄を知って頂きたい。



村田氏（中央）を囲む参加者（長野会場）

< JAM甲信における当面の取り組み >

内 容	甲信における取り組みの時期
①地方JAM政策実現推進委員会の設置	2021年8月2日の第7回執行委員会にて設置完了
②地方JAM推進計画の策定	2021年8月2日の第7回執行委員会にて確認後、JAM甲信第23回定期大会にて最終確認
③地方JAMによる推薦決定 (臨時地方委員会、全単組代表者会議、定期大会の開催)	2021年9月17日の第23回定期大会にて決定
④単組による推薦活動と必勝に向けた大会決議 (加盟全単組による推薦活動(手続き)、単組大会が地方JAM定期大会以前の場合も必ず行うこととする) ※既に単組の定期大会が終了した単組については、労働協約改訂及び年末一時金の取り組みにおける要求決定大会やその他、臨時大会において必ず行って下さい。	☆一次集約：2021年10月29日(金) ☆最終集約：2021年11月30日(火)
⑤市区町村別居住組合員数調査(2021年8月に要請)	☆一次集約：2021年11月22日(月) ☆最終集約：2021年12月24日(金)
⑥政策実現活動に関する単組役員・組合員の学習会の開催 ※政策実現活動の重要性を改めて認識してもらうための学習会を村田氏の推薦決定を終えた単組・支部から順次、実施して下さい。 ※学習会については、単組役員を終えた後、組合員にお願いしたいが、単組の状況によっては、単組役員と組合員が同じタイミングでも認め合うこととします。	☆単組役員の学習会の終了目途は2021年11月末 ☆組合員の学習会の終了目途は2022年1月末
⑦「応援カード」の全単組・支部、全組合員からの回収 ※単組・支部において村田氏の推薦決定、学習会を終えた単組から順次、取り組みを開始して下さい。 ※推薦決定並びに学習会の開催が遅れた単組については並行した取り組みをお願いします。	2021年11月より開始 ☆一次集約：2021年12月30日(木) ☆最終集約：2022年02月28日(月)